

A 区訪問看護管理者様

ご推薦いただいた

訪問看護事業所のプリセプターの方、

プリセプター候補の方

「A 区の訪問看護プリセプター研修プログラムの検討」

説明と協力への検討のお願い

お忙しい中、プロジェクトの説明をさせていただく機会をいただき、ありがとうございます。私は聖路加国際大学大学院博士課程で在宅看護を専攻しております佐藤直子（さとうなおこ）です。私は訪問看護事業所でプリセプター役割をする看護師のための研修プログラムを作り、事業所全体で入職してくる看護師を支えることに貢献できる看護師の育成を目指しています。下記の内容についてご理解をいただいたうえで本プロジェクトにご協力いただきたいと思います。

訪問看護のプリセプターとは

プリセプターとは新人看護師に対して臨床実践に関する実地指導、評価等を継続的に行う者。で、事業所内での役割名がプリセプターではなくとも、上記の役割を担うと自他が認識している者を指します。

1. プロジェクトの目的と意義

訪問看護事業所の人材育成については、人材不足が続き、これまで募集と採用ばかりが注目されてきました。しかし、人材不足を解消するには、募集と採用だけでなく、採用後の定着を図ること、就業しているスタッフがいきいきと働き続けることも重要と考えます。

新入職員を採用した際に、現状では管理者が採用後の育成担当をすることが多いですが、訪問看護管理者は役割が多すぎることが問題になっています。スタッフにプリセプターなどの役割を与えて OJT をしてもらう事業所も増えてきています。しかし、プリセプターは準備無しにお任せしてしまうと強い負担感やストレスを感じ、特に退職につながります。訪問の合間に縫い新人をフォローし、同行訪問の振り返りを行い、ほかのスタッフや事業所全体で育成する雰囲気をプリセプターが作っていくには準備が必要と考えます。プリセプターを経験することはそのスタッフにとっても成長のチャンスになるといわれており、その役割が成功することはスタッフの自信になります。準備をしてからプリセプター役割をして、訪問看護師として成長することが望まれますが、どのように準備教育をするのかは訪問看護の分野では全く研究がされていません。

そこで、本プロジェクトでは訪問看護の様々な専門家や、当事者と研修プログラムの内容を吟味し、プリセプターの役に立ち、かつ現場に即した研修プログラムを作ることを目的にします。

2. 研究の方法

- ① 訪問看護のプリセプターシップや教育の経験者による複数の専門家から意見をもらい、訪問看護のプリセプター研修の内容を考え、修正を繰り返します。
- ② 訪問看護事業所のプリセプターかプリセプター候補の方と管理者様併せて14名に集まつてもらい、1日間（7時間）の研修を行います。研修の後で評価表に答えてもらいます。
- ③ 1か月後にその後の変化についてインタビュー（30分程度）をします。
- ④ 出された意見を分析し、さらに研修プログラムの修正をします。

3. お願いしたい事項と要件

- ・研修プログラムにご参加ください。内容について評価表のご記入をお願いします。
- 1日間（約7時間）の研修ですが、管理者様は最低でも最初の単元1（2時間）をご受講ください。
- ・1か月後にその後の変化についてインタビューをさせてください
(場所は事業所内もしくは大学内)
- ・研究の参加はプリセプター候補の訪問看護師様と、管理者様の双方の参加希望があることが参加要件になります。双方の希望がそろわない場合は参加できません。希望がそろわない場合は別途知識や資料の提供、ほかの研修のご案内をするようにいたします。

4. 倫理的配慮

- ・研究への参加は自由意思に基づきます。途中で協力を取り下げるることができます。協力の断りは、研究者に直接連絡をいただくか、同意書と同時に渡す「研究協力同意撤回書」にご署名いただき、FAX、郵送、電送いずれの方法でも結構ですのでご提出ください
- ・研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって研究対象者等に不利益が生ずるものではありません。
- ・個人を特定する情報（住所・生年月日など）は情報収集せず、記録に記載しません。その他の情報も個人の特定ができないように配慮します。ですので、参加を途中でやめた場合にそれまでのデータを取り除くことはできません。発言した内容に関しては、発言者が同定できる場合は発言の削除ができます。
- ・研究は学会や雑誌等での公表も考えております。いただいた情報を最大限に活用し、看護の発展に努めるように致します。
- ・いただいたデータは電子媒体に入力します。電子媒体とデータは鍵のかかる場所で適切に管理し、5年間の保管後、適切に廃棄をします。

5. 危険や不快等への対応策

特に危険が伴うことは致しませんが、以下のことについて配慮します

- ・研修会やインタビュー中に気分不快などが生じた場合は、説明会への参加を中止し、本人と相談し、速やかに帰宅するか、しばらく休めるように配慮します。

6. 研究の資金・利益相反について

- ・本研究にあたり研究者は本学の利益相反管理委員会の審査を受けており、関係機関等との利益相反については管理されております。
- ・本研究の参加により、参加者はプリセプターシップの準備ができる可能性があります。また、区内の他事業所の同じような立場の方と意見交換する機会を持てます。
- ・研修会場は本大学内の予定です。会場までの交通費はご負担いただくことになります。

7. 研究に関する情報開示について

研究協力者への情報の開示について

- ・研究内容や計画について知りたい方は本説明書、同意書、協力撤回書にあります電話番号またはメールアドレスにご連絡ください。また、結果については論文投稿および学会発表にて結果を開示します。
- ・研究計画書に関しては、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画書及び研究の方法に関する資料をもとめに応じて当大学内で閲覧していただけるようにいたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けて研究を行っております

(承認番号—19-A004)

本プロジェクトに関する情報やご不明な点等がございましたら、遠慮なく下記の連絡先までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

研究者：佐藤直子（聖路加国際大学大学院看護学研究科博士課程）

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

電子メール: 17dn104@slcn.ac.jp (佐藤直子)

指導教員：聖路加国際大学大学院 看護学研究科

在宅看護学教授 山田雅子

聖路加国際大学

学長 福井次矢 殿

研究への参加・協力の同意書

私は「A 区の訪問看護プリセプター研修プログラムの検討」

について説明文書を用いて説明を受け、内容を理解し、この研究に協力することに同意します。

日付： 年 月 日

研究参加者氏名（ご署名） _____

説明者氏名（署名） _____

聖路加国際大学研究倫理審査委員会 承認番号：19-A004

(承認番号の無いものは無効)

研究協力の同意撤回書

聖路加国際大学

学長 福井次矢 殿

私は「A 区の訪問看護プリセプター研修プログラムの検討」への協力に同意しましたが、このたび協力を中止することにいたしましたので、通知します。

(これまでにデータをいただいている場合は以下のチェックボックスどちらかにチェックをしてください。)

本日までに得られたデータについては研究に使用することを許可します。

発言した内容について削除してほしいので、記録から自分の発言を特定し削除させてください。(大学内で研究者と一緒に記録を確認し発言内容を確認する)

日付： 年 月 日

氏名（ご署名）： _____

同意撤回の意思を確認いたしました。

日付： 年 月 日

研究者氏名(署名)： _____

○○様

「A 区の訪問看護プリセプター研修プログラムの検討」

説明と協力への検討のお願い

お忙しい中、プロジェクトの説明をさせていただく機会をいただき、ありがとうございます。私は聖路加国際大学大学院博士課程で在宅看護を専攻しております佐藤直子（さとうなおこ）です。私は訪問看護事業所でプリセプター役割をする看護師のための研修プログラムを作り、事業所全体で入職してくる看護師を支えることに貢献できる看護師の育成を目指しています。下記の内容についてご理解をいただいたうえで本プロジェクトにご協力いただきたいと思います。

訪問看護のプリセプターとは

プリセプターとは新人看護師に対して臨床実践に関する実地指導、評価等を継続的に行う者で、事業所内での役割名がプリセプターではなくとも、上記の役割を担うと自他が認識している者を指します。

1. プロジェクトの目的と意義

訪問看護事業所の人材育成については、人材不足が続き、これまで募集と採用ばかりが注目されてきました。しかし、人材不足を解消するには、募集と採用だけでなく、採用後の定着を図ること、就業しているスタッフがいきいきと働き続けることも重要と考えます。

新入職員を採用した際に、現状では管理者が採用後の育成担当をすることが多いですが、訪問看護管理者は役割が多すぎることが問題になっています。スタッフにプリセプターなどの役割を与えてOJTをしてもらう事業所も増えてきています。しかし、プリセプターは準備無しにお任せしてしまうと強い負担感やストレスを感じ、特に退職につながります。訪問の合間を縫い新人をフォローし、同行訪問の振り返りを行い、ほかのスタッフや事業所全体で育成する雰囲気をプリセプターが作っていくには準備が必要と考えます。プリセプターを経験することはそのスタッフにとっても成長のチャンスになるといわれており、その役割が成功することはスタッフの自信になります。準備をしてからプリセプター役割をして、訪問看護師として成長することが望まれますが、どのように準備教育をするのかは訪問看護の分野では全く研究がされていません。

そこで、本プロジェクトでは訪問看護の様々な専門家や、当事者と研修プログラムの内容を吟味し、プリセプターの役に立ち、かつ現場に即した研修プログラムを作ることを目的にします。

2. 研究の方法

- ① 訪問看護のプリセプターシップや教育の経験者による 7 名の専門家の意見をもとに、訪問看護のプリセプター研修の内容を考え、修正を繰り返します。
- ② 訪問看護事業所のプリセプターやプリセプター候補の方と管理者 14 名に集まつてもらい、研修内容の説明会をします。そこでさらに意見交換や感想などを教えてもらいます。
- ③ 出された意見を分析し、さらに研修プログラムの修正をします

3. お願いしたい事項

- ・ 専門家として研修プログラム案についてご意見やご感想をください。
 1. 個別に面談（対面もしくは電話）1回（2019年3月～7月）
 2. 校正や意見交換（メールもしくは電話）1回

面談はその都度、ご都合をお伺いして設定します。

個別にお話を伺うときには、事業所内等で場所をお借りできますと幸いです。

無い場合はこちらで用意をいたします。

面談やメールでいただいたご意見やコメントをデータとして扱い、プログラムの修正に活用します。

4. 倫理的配慮

- ・ 研究への参加は自由意思に基づきます。途中で協力を取り下げるすることができます。協力の断りは、研究者に直接連絡をいただくか、同意書と同時に渡しする「研究協力同意撤回書」にご署名いただき、FAX、郵送、電送いずれの方法でも結構ですのでご提出ください
- ・ 研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって皆様に不利益が生ずるものではありません。
- ・ 個人を特定する情報（住所・生年月日など）は情報収集せず、記録に記載しません。その他的情報も個人の特定ができないように配慮します。
- ・ 研究は学会や雑誌等での公表も考えております。いただいた情報を最大限に活用し、看護の発展に努めるように致します。
- ・ いただいたデータは電子媒体に入力します。電子媒体とデータは鍵のかかる場所で適切に管理し、5年間の保管後、適切に廃棄します。

5. 危険や不快等への対応策

特に危険が伴うことは致しませんが、以下のことに配慮します。

- ・ 面談中に気分不快などが現れた場合にはすぐに話し合いを中止し、適切な受診の促しや、しばらく休めるように配慮いたします。

6. 研究の資金・利益相反について

- ・ 本研究にあたり研究者は本学の利益相反管理委員会の審査を受けており、関係機関等との利益相反については管理されております。
- ・ 本研究の参加により、参加者へは直接的な利益はありませんが、研修プログラムの内容を知ることで、今後の実践に役立つことも考えられます。面談等で得た貴重な意見は今後の研修プログラム開発に役立ててまいります。

7. 研究に関する情報開示について

協力してくださる利用者様への情報の開示について

- ・ 研究内容や計画について知りたい方は本説明書にありますメールアドレスにご連絡をください。また、結果については論文投稿および学会発表にて結果を開示します。
- ・ 研究計画書に関しては、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画書及び研究の方法に関する資料をもとめに応じて当大学内で閲覧していただけるようにいたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けて研究を行っております

(承認番号—19-A004)

本プロジェクトに関する情報やご不明な点等がございましたら、遠慮なく下記の連絡先までお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

研究者：佐藤直子（聖路加国際大学大学院看護学研究科博士課程）

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10 - 1 聖路加国際大学

電子メール：17dn104@slcn.ac.jp（佐藤直子）

指導教員：聖路加国際大学大学院 看護学研究科

在宅看護学教授 山田雅子

聖路加国際大学

学長 福井次矢 殿

研究への参加・協力の同意書

私は「A区の訪問看護プリセプター研修プログラムの検討」

について説明文書を用いて説明を受け、内容を理解し、この研究に協力することに同意します。

日付： 年 月 日

研究参加者氏名（ご署名） _____

説明者氏名（署名） _____

聖路加国際大学研究倫理審査委員会 承認番号：19-A004

(承認番号の無いものは無効)

研究協力の同意撤回書

聖路加国際大学
学長 福井次矢 殿

私は「A 区の訪問看護プリセプター研修プログラムの検討」への協力に同意しましたが、このたび協力を中止することにいたしましたので、通知します。

(これまでにデータをいただいている場合は以下のチェックボックスどちらかにチェックをしてください。)

本日までに得られたデータについては研究に使用することを許可します。

発言した内容について削除してほしいので、記録から自分の発言を特定し削除させてください。(大学内で研究者と一緒に記録を確認し発言内容を確認する)

日付： 年 月 日

氏名（ご署名）： _____

同意撤回の意思を確認いたしました。

日付： 年 月 日

研究者氏名(署名)： _____

QIcycle2の専門家の意見と修正一覧 資料3-2

意見番号	専門家の意見	研修要綱・教材への具体的な修正内容
1	カタカナの用語は多いがそれぞれの定義は教材に書いてあり、それぞれ重要な用語ばかり。苦手に感じる人もいるので各単元新しく触れる言葉は減らした方が良い。	単元1と2で扱うカタカナの言葉の量を検討して各単元ごと4つカタカナの用語を扱うこととした。
2	日本向け、実際の現場向けになった。参加者が自分ごととして捉えることができる。 プログラムワークシートを実際に書いてみると自事業所の人材育成の課題が見やすい(複数の専門家から同様の意見があった)	意見
3	教材スライド単元1の文字数が多いが、資料として研修後に読み返しても内容が分かる程度の文字数は必要	スライドの文字数を減らした。スライドだけ読んで意味が通じるように見直しをした。
4	教材スライド(単元1スライド7)の文章をより分かりやすくしてほしい	(単元1スライド7)「自分が訪問看護に来て」という表現を「自分が訪問看護師になって」に修正した
5	具体的に説明をした方がより理解できるので教材スライド(単元1スライド11)に追加説明を加えてほしい	「大きな壁を感じる」という表現に、先行文献で訪問看護師への移行の障害とされる「各制度の知識不足、一人で時間内に訪問を終える、病院との違い」を加えた(単元1スライド11)
6	教材スライドのイラストが内容を反映していないものがあるので修正してほしい(単元1スライド24)	ガッツポーズのイラストをプリセプターとプリセプティのイラストに差し替えた
7	コーチングスキルは短い時間で学ぶことが難しいのではないか	コーチングのスキルの中でリフレクションを促すフィードバックに特に必要な傾聴・質問・承認に絞って研修を行う
8	リフレクションを促すフィードバックは難しいと思うが、コーチングスキルを示されて実際にロールしてみるとスキルが身につく	
9	ワークシートはとても良いが、アクションプランを作る際に緊急度をつけてより実現しやすくなれば良い	ワークシートを修正し、アクションプランに緊急度が書き込めるようにした(資料2)
10	研修後に定期的にフォローアップがあつたほうが良い。 アクションプランは実際に行ったかその評価を発表する評議会などのフォローがあるとよい	参加者にフォローアップの必要性を感じるかQicycle3で聞き、検討する

受講者評価シート (プリセプター用)

ご自分に当てはまるものに☑してください

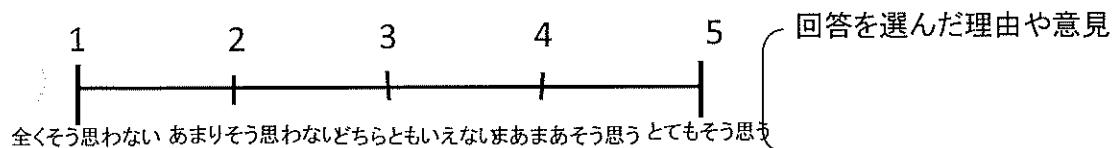
1. -1 年齢 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代

1. -2 訪問看護師経験年数 _____ 年

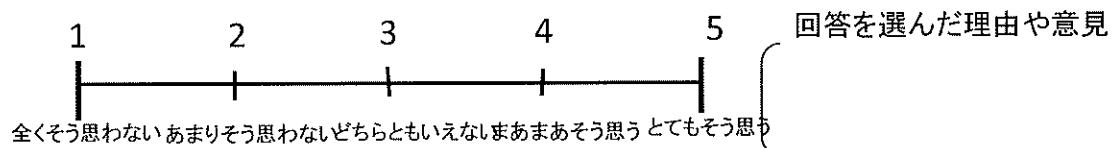
1. -3 貴事業所でのプリセプターシップの有無 有 無

1~9について、ご自分の考えに一番近い数字（1から5）に○をしてください。
カッコ内にその理由やご意見をお書きください。

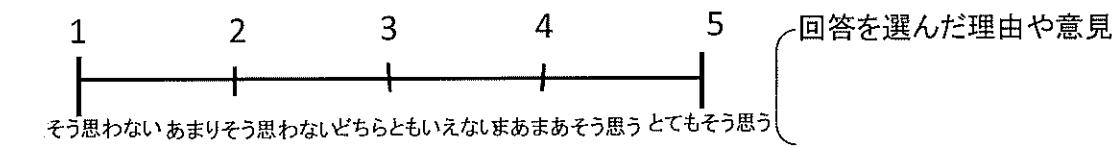
1. 開催の日程や時間は参加しやすい



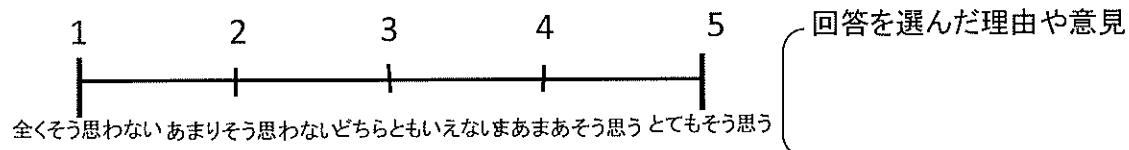
2. 研修の長さは適切だった



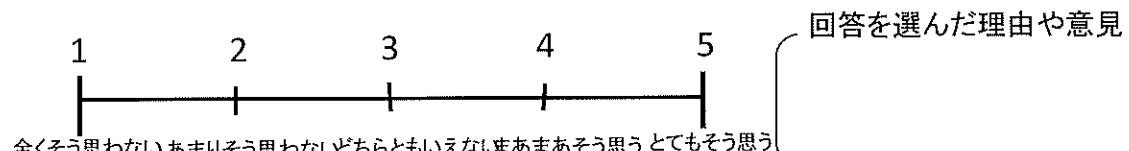
3. 資料は見やすく適切だった



4. 研修の方法は効果的と感じた

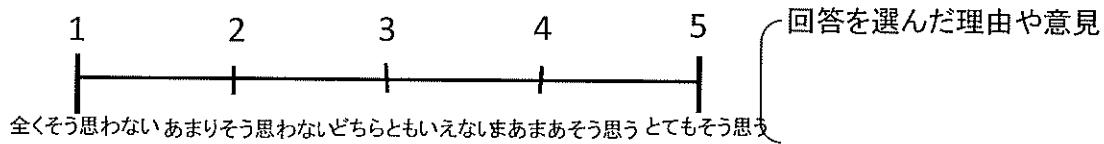


5. 研修の内容はプリセプターをするのに役立つと思う

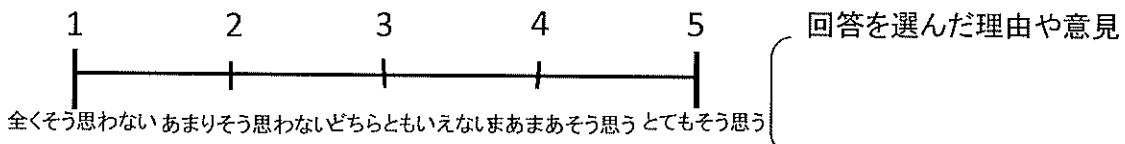


裏面もあります⇒

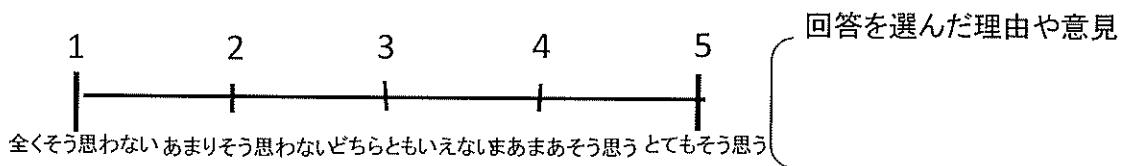
6. 自事業所のプリセプターの役割が明確になった



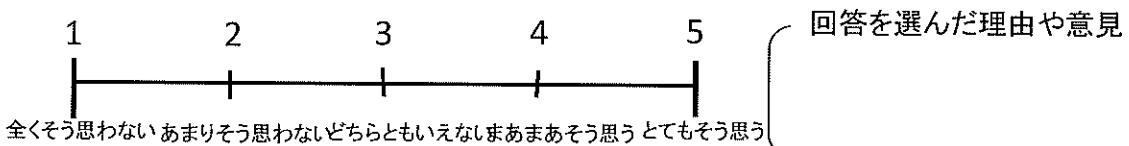
7. プリセプターシップに対する自分の課題が明確になった



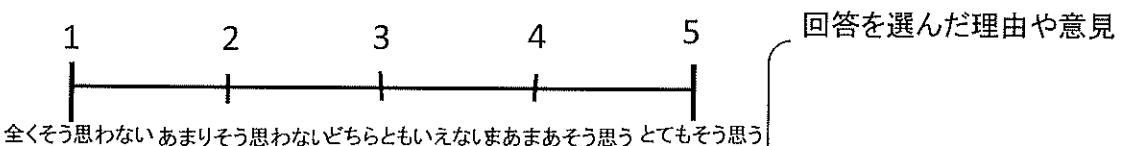
8. 自事業所組織のプリセプターシップの課題が明確になった



9. 研修全体に満足である



10. もしプリセプターになったら、やっていけそうだと思いますか。



この研修をすることでのメリットと感じたことを教えてください
本研修への希望や、ご意見、ご感想などお聞かせ下さい。

☆お疲れ様でした！☆

資料5

インタビューガイド

対象者：研修に参加した訪問看護師にそれぞれにインタビューする
(プリセプターが役割を認識、この組織でプリセプターをしたいと思っているか)

1. 研修は実践に役立っていると感じていますか、
感じる時があるとすれば、それはどのような時ですか

2. 研修で見出した課題について何か取り組んでいますか
(個人レベル・組織レベル共に)

3-a. (取り組んでいる場合) 実践しているとしたらどのようにとりくんでいますか

3-b. (取り組んでいない場合) 実践できない理由や、障害だと思うことは何ですか
(外的環境・内的環境を含む)

内的環境：チームのコミュニケーション、文化、変化への切迫感、ほかの課題より優先度が高いか、)

口

4. 事業所の課題や自分の課題に取り組むために、組織内サポートはありますか
どのような組織内外のサポートが欲しいと思いますか(リーダーの支援や資源)

5. プリセプター研修を受けたことはどのような意味がありましたか

自身、あるいは組織にとってどのような効果があった(変化があった)と思いますか

6. 個人特性

あなた自身がプリセプターの役割をすることをどう感じていますか

介入の特性

・プリセプターが研修を受けることで、その役割が発揮しやすくなるということは、どう思っていますか
本当だと思いますか？もっと良い方法があると思いますか？

・今回の研修は今後も続けられると思いますか？費用的にも

訪問看護師プリセプター研修要綱(Ver.4)

QIcycle1で修正した部分は下線 で示す
 QIcycle2で修正した部分は下線 で示す
 QIcycle3で修正した部分は波線 で示す

本研修のねらい

看護師のプリセプターは、新人看護師が入職してアリティシヨックを乗り越え、職場に定着するために重要な役割であると言われています。プリセプターは実際の現場で実地指導を行うこと、メンターとして精神的な支援を行うことが求められています。訪問看護においても、新人訪問看護師（既卒、新卒を問わず訪問看護に初めて従事する看護師）は多くの実務上の難しさを感じるため、実地指導を継続的に行うプリセプターが必要です。プリセプターは自分の役割を認識し、職場全体で支えられながら役割を遂行していきます。そしてそのためには事業所全体でプリセプターシップを支えることが必要です。本研修はプリセプターになる看護師や、プリセプターシップを支援する管理者や同僚看護師が研修を受け、自分の役割を知り、どのように行動するかを考え、役割を遂行するための行動を実行することを目指すものです。

I. 研修の概要

1. 対象は訪問看護事業所でプリセプターもしくはそれに準ずる者、プリセプターシップを支援する管理者やスタッフ
2. 参加者の訪問看護業務に影響が少ないように、1日間もしくは数回に分けて開催する。
3. 本研修はプリセプター研修内容をよく理解しているもののが行う。

II. 本研修の目標

1. 訪問看護事業所のプリセプターやその支援者がその役割を遂行するための基礎的な能力を身に着ける。
2. 訪問看護事業所のプリセプターやその支援者が自事業所で期待されている役割を考えることができる。
3. 訪問看護事業所のプリセプターやその支援者が役割を発揮するために自事業所における課題と自身の課題を考えることができる。
4. 考えた課題について、解決に向けた行動をすることができる、

III. 訪問看護師のプリセプターに求められる能力

1. 事業所の人材育成計画を理解し、人材育成に関する課題の解決に取り組める。
2. プリセプティの特徴を理解し、プリセプティの心身の状態に関心を向けることができる。
3. プリセプティの学びをよく聞くことができ、実践について目標管理ができる。
4. プリセプティとプリセプター間では解決が難しい時に、周囲に相談ができる。
5. プリセプティの実践力について事業所職員にわかりやすく伝えることができる。
6. 上司や同僚とよく話し合うことができる。

IV. 研修内容

単元 1. 基本的な知識

ねらい	訪問看護師のプリセプターの知識を得て、基本的な役割を知る	
目標	1) プリセプターシップとは何か、訪問看護師のプリセプターの役割とは何かを述べることが出来る 2) 看護師の学習の特徴と、新しい職場での学習の特徴について述べることが出来る 3) 職場研修の基礎知識を知り、用語の意味を述べることが出来る 4) 自分自身の考えるプリセプター役割期待を表現できる	
学習内容	①プリセプターシップの概要とプリセプターの役割 •プリセプターシップとは、訪問看護師のプリセプターとは •日本の動向（新人看護職員研修） •訪問看護分野の現状と動向（ガイドの紹介） •新人育成にかかわる用語の整理（OJTなど） ②ベナーの5段階、成人学習理論 •ベナーの5段階 特に初心者と新人 •成人学習の特徴、経験学習、アンラーニング （プリセプティもプリセプターも） ③訪問看護でのOJTの特徴と難しさ •同行訪問がメインのOJTの課題 ④プリセプターの役割について考え方で意見交換「あなたはプリセプティイに何をしてあげたらよいと思うか」	単元目標との関連 内容①は 1) 3) に関連する 内容②は目標 2) 3) に関連する 内容③は目標 4) に関連する

講義計画 単元 1 90 分

時間	教材	内容・教材	ねらい	留意すること
導入				
5 分	スライド 1 – 5	この研修の概要の説明	研修の目的・背景などを知り、学習へのモチベーションを上げる。	
15 分	スライド 6	自己紹介とアイスブレイク 訪問看護に来て、先輩から教わったこと、助けてもらったこと。反面教師となった出来事でも良い。 •座席の近い人と 4-5 人のグループになり話す	印象に残っている自分の学習体験を想起して、自分なりのプリセプター像をイメージする。	同じ事業所の人と一緒にならないよう座席の配慮を行う
展開				
2 分	スライド 7 – 8	プリセプターシップ 新人看護職員研修ガイドライン	用語の整理と共通理解を持つ	理解の状況は受講者の表情態度を

		の説明		見る。
2分	スライド9	どの事業所でも共通する目標 現状と課題	事業所ごとにプリセプターの役割は少しづつ違うが、共通する目標があることを確認する	
38分	スライド 12-18	プリセプターに必要な知識の確認 OJT・成人学習の特徴・経験学習・アンラーニング・訪問看護でのOJTの特徴		理解の状況は受講者の表情態度を見る。途中質問時間を探る。
20分	スライド 19-21	プリセプターシップを支える体制の例示をする 隣同士がペアになり意見交換 「私は、プリセプティ（プリセプター）に何をしてあげたいか？何をしたらよいと思うか？」 グランドルールを示し、安全に自由に話す。 ペアで出た意見について 2-3 人に発表してもらう。参加者はほかの参加者の意見を聞き、知見を深める。	具体的な例示を聞き、自事業所では同館どうしたらよいのか具体的に考える。自分自身が考えるプリセプター像を具体化する。 気持ちよい意見交換の場を得て活発な意見を出す	講師はテーマに集中できているか、二人ともが十分に話ができるか気を配り、必要時は声をかけて話し合いがスムーズになるように促す ・安全に話せる環境を作る
まとめ				
3分	ワークシート ワーク2	ワークシートに書き込む	自分の意見を書き留め表現してみる	全員が記入できているか確認する。
5分	スライド 22-23	単元1のおさらいをする 単元1の質疑応答	単元1のポイントを反芻する	参加者の表情やうなづきで理解を確認する

単元 2. プリセプターに必要な技術・態度

ねらい	プリセプターの役割行動ができるスキルを理解し、自分自身のプリセプターとして、または支援者としての課題を考える	
目標	1) プリセプティのニーズの特徴と、目標設定・計画立案・評価の方法をいくつか述べることが出来る 2) コーチングを行い、どのようにプリセプティとフィードバックするのか事例を使い考える事が出来る 3) プリセプターに必要な技術態度について自身の課題を表現できる 4) 人材育成にかかる倫理的課題について考えることができる 5) プリセプティやスタッフとの具体的なかわりを考え行動できる	
学習内容	①学習ニーズ、目標設定 ・目標設定の SMART ・プリセプター自身の目標 ②評価の方法 ・クリティカルシンキング ・目標設定とその評価 ・複数人での評価の工夫（人、機会） ③フィードバックの方法 ・リフレクションを促すフィードバック ④コミュニケーション ・コーチングの姿勢とテクニック　・アサーティブコミュニケーション ・プリセプティとのコミュニケーション、チームとのコミュニケーションのポイント : 状況設定演習 グループでコーチングを用いたフィードバックを考えてみる 事例 1：プリセプティが「利用者にケアを拒否された」と落ち込んでいる場面にあつたら。 事例 2：プリセプティが、同行したほかスタッフに責められている場面に出会つたら。 ⑤プリセプターに必要な技術態度について、自分の課題	単元目標との関連 内容①は目標 1) に 関連する 内容②は目標 1) に 関連する 内容③は目標 1) 2) に関連する 内容④は目標 1) 2) 3) に関連する 内容⑤は目標 3) 4) 5) に関連する

講義計画 単元 2 150 分

時間	教材	内容	ねらい	留意すること
導入		この単元の目標を伝える	目標を理解し、モチベーションを高める	
展開				
5 分	スライド 1 – 4	クリティカルシンキング 目標設定 SMART について説明 具体的な例示を上げ疑問をもつてもらう	クリティカルシンキングを ベースベースにした目標設定を知る。	
22 分	スライド 5 – 10	プリセプティやスタッフとのかかわり方 アサーティブコミュニケーションの確認をおこ ない、そのうえでタイムリーに具体的にポジ ティブなフィードバックを行うことの必要性を 伝える。 具体的なフィードバックをするためにコーチ ングを用いたフィードバックについて説明す る。具体的にどのように質問するのか評価 するのかを説明する	知識の整理をする 具体的に効果的なフィ ードバックの方法を知る	アサーティブコミュニケ ーション・コーチングにつ いて研修を受けている人もいる ため、挙手などして 知識の確認する。 この研修で取り上 げるコーチングはコ ーチングの一部であ ることを伝える。
55 分	スライド 11—12	事例 1 を用いてフィードバックをグループで 考え、ロールプレイする ・グループで作戦会議 10 分、役作り 1 分、ロール 7 分、振り返り 15 分 全体共有 20 分 ロールプレイのルールを示し、安全に効果 的にロールプレイができるようにする かかわりのポイント ・プリセプティを非難したり、自分の考え方 や思いを一方的に押し付けないようにする ・失敗体験にならないように、本人が気づ いていたこと、本人が意図していたことを引 き出し整理する。 ・何がダメだったのか、ではなく気づいた情 報をもとにどう考えて行動するとより良かつ たか、を本人が整理して言葉にできるよう に支援する	・他者の考えを知ること ができる ・自分の意見を押し付 けないかかわりができる ・相手のモチベーション を上げるかかわりができ る ・相手が無意識にでき ていることを言葉にする かかわりができる。 ・ロールプレイを体験し 学習効果を感じること ができる	ロールプレイのルー ルを示し、グルー プワーク・ロールプレ イ・振り返りに参加 者が集中できてい るか見る。 ロールの邪魔になる ものはできるだけ排 除する。（隣のグ ループの音など）

休憩				
65 分	スライド12	<p>事例 2 を用いて具体的なかかわり方を考え、ロールプレイする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作戦会議 10 分、役作り 1 分、ロール 7 分、振り返り 15 分 <p>全体共有 30 分で以下のポイントを参加者と整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリセプティを安全な環境に避難するなど工夫する ・プリセプティと先輩スタッフどちらかを患者にしないで、それぞれの考え方や思いを聞き整理する ・先輩看護師を人材育成する仲間として巻き込む工夫をする ・職場内で起きる非倫理的なかかわりについて気づく ・先輩看護師以外のスタッフを巻き込み問題解決にあたる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成にかかわる倫理的な課題について考えることができる ・フィードバックの場つくりを考える ・自分以外のスタッフの巻き込み方や支援を考える ・衝撃的な場面に出会ったプリセプティの支援について考える 	<p>ロールプレイのルールを示し、グループワーク・ロールプレイ・振り返りに参加者が集中できているか見る。</p> <p>ロールの邪魔になるものはできるだけ排除する。（隣のグループの音など）</p> <p>感情が揺さぶられてつらくなった人は自由に退場できるように配慮する</p>
まとめ				
3 分	スライド13 ワークシート3	講義とロールプレイを通して感じた自分に必要なことと課題を考えて表現する	プリセプターとして、プリセプターを支援するものとしての知識や技術・態度を知ったうえで、自分の課題を考える。	全員が記入しているか確認する

単元3. 事業所全体で育成をする文化を作るための技術

ねらい	事業所全体でプリセプターシップを支えるための課題を考えることが出来る		
目標	1) 事業所の体制や理念を理解するために必要な情報を述べることが出来る 2) 自事業所の体制や理念を理解し、組織の課題を考え、表現できる 3) 自組織の人材育成上の課題と課題に対するアクションプランを考え、表現できる		
学習内容	①組織の分析と周囲を巻き込む方法 <ul style="list-style-type: none"> ・組織のビジョン・ミッション・バリュー ・人材育成計画と自分の役割、自分を支える体制 ・人材育成上の自組織の課題 ・人材育成の透明性の確保 ・組織全体での課題解決と、個人の取り組み ・2 者間で解決が困難な場合 ・課題解決の方法	単元目標との関連 内容①は目標 1) に関連する 内容②は目標 2) に関連する 内容③は目標 3) に関連する	

	②グループ討議「自事業所の人材育成の資源や強み、課題」 ③全体討議「それぞれの課題へのアクションプラン」 ④個人ワーク「課題解決へのアクションプラン」	内容④は目標 1) 2) 3) に関連する
--	---	--------------------------

講義計画 単元3 120分

時間	教材	内容	ねらい	留意すること
導入				
5分	スライド1	単元1・2と単元3とのつながりの説明 プリセプターなどが事業所全体について考える必要があることを理解する 単元の目標の説明	プリセプターなどが事業所全体について考える必要があることを理解する 手の届く目標設定であることを知ってもらう (アクションプランの立案)	プリセプターやスタッフ、管理者それぞれ自分の立場で考えるプランでよいことを確認する
展開				
15分	スライド2-8	組織と自分の役割 目標設定や教育計画を立てる際にも組織の目標やニーズを知る必要があることを伝える 組織の構造・教育管理・教育管理の視点で事業所の現状を明らかにしていく	自分の事業所の課題や強みを図示し、言葉で表現することで現状の理解や気づきを促す	
5分	スライド9-10 ワークシート トワーク4	個人ワーク 事前課題のワークシートに改めて追記や修正をしてもらう	客観的に自分の組織の状況を考えて、表現する	グループ内にすべて見せなくてもよいので素直に書いてみることを勧める
55分		グループワーク・アクションプラン立案 グループで自分が考える事業所の課題や強みをシェアして意見交換する。 強みの一つとしてこのような同じ立場の人と意見交換できることも一つの資源であることを伝える	客観的に自分の組織の状況を考えて、表現する 他事業所の現状を知ることで自事業所の強みや課題を改めて考える	ワークシートの内容をすべてグループにさらけ出さなくてもよいことを伝える グループワークのルールを再度見てもうつてもよい。

				互いの課題への共感、助言など自由に話し合う。グループ全員が話せるように配慮をする。
休憩				
5 分	ワークシートワーク 5	アクションプランの立案をしてみる	課題を表現してみる	かんたんなこと、自分でできることから考えることを勧める
20 分		全体討論 グループワークで出た意見やディスカッションを共有し、話し合いを行う	他の意見を知り、より自組織を客観視する	全体から意見が出やすくなるように水を向ける
まとめ				
10 分	スライド 11-12	アクションプランの宣言 <u>ひとつでよいのでまず自分がすることを共有する</u> <u>発表者が気持ちよく発表できるように拍手や声掛けを参加者に促す</u>	宣言することでモチベーションを上げる 他の参加者から応援や承認を貰い、行動を起こす動機付けをする	宣言をした際に、発表者以外は拍手とともにポジティブな声掛けをするよう促す「きっとできるよ」「いいと思う」など

V. タイムスケジュール案（1日の場合）

時間	長さ（分）	内容
9:30-9:35	5	導入
9:35-11:00	85	単元 1
11:00-11:10	10	休憩
11:10-12:00	50	単元 2 講義
12:00-13:00	60	休憩
13:00-14:40	100	単元 2 内容⑤
14:50-16:50	120	単元 3（休憩含む）
16:50-17:00	10	あいさつ 評価表への記載

タイムスケジュール案 2 (半日×2回の場合)1日目

時間	長さ(分)	内容
14:00-14:05	5	導入
14:05-15:25	85	単元1
15:25-15:35	10	休憩
15:35-16:25	50	単元2 講義
16:25-17:00	35	単元2ロールプレイ事例1
17:00-17:05	5	ワークシートの説明、

2日目

時間	長さ(分)	内容
14:00-14:20	20	前回の振り返り、参加者の感想
14:20-15:05	45	単元2 ロールプレイ事例2、 全体共有
15:05-17:05	120	単元3(休憩含む)
17:05-17:10	5	あいさつ、評価表への記載

VI. 事前課題

集合研修までに自事業所の状況や、自分自身の感じていることを、ワークシートにまとめて、研修に臨むようにする。

内容

- ・自事業所の理念、ビジョン・ミッション・ポリシー
- ・自事業所の人材育成の計画・体制
(※上記が不明確な場合は不明確である旨を書く)
- ・プリセプターになるにあたり、期待されていること、不安に感じていることや疑問もしくは
- ・プリセプターを支援する同僚や上司として不安に感じていることや疑問

VII. フォローアップ

フォローアップは、参加者の状況に合わせて研修後1か月を目途に開催する。必要時は個別相談に応じる
フォローアップのねらい

1. 現場での困難や新たな課題について、語り合うことで現状の課題を整理する
2. 同じ立場の人たちから励ましを受け、背中を押してもらうことでアクションを起こす意欲をもつ
3. さらにアクションプランを具体的にしてアクションを起こしやすくする

フォローアップは基本的に参加者が再び集まり、現状について話し合う。その後新しいアクションプランを立てる。

参加者同士で新しいアクションプランを発表しあう。

フォローアップのタイムスケジュールは参加者の人数や許された時間により決める

ファシリテートの留意点

- ・同じ訪問看護事業所の管理者とプリセプター看護師は同じグループにしない。
- ・話し合いの空間が心地よく、秘密が守られる安心できる空間つくりを心かける。
- ・解決策を考えるよりも、何がうまくいかない要因となり、何がうまくいく要因になっているかについて現状を把握することを促す
- ・ひどく落ち込んでいる・焦っている参加者には個別の相談が必要か検討する。
- ・発表された新しいアクションプランには拍手で暖かく受け入れ、励ます。

訪問看護プリセプタートレーニングプログラム(Ver.1)

本研修のねらい

看護師のプリセプターは、新人看護師が入職してリアリティショックを乗り越え、職場に定着するために重要な役割であると言われている。プリセプターは実際の現場で実地指導を行うこと、メンターとして精神的な支援を行うことが求められている。訪問看護においても、新人訪問看護師（既卒・新卒を問わず訪問看護に初めて従事する看護師）は多くの実務上の難しさを感じるため、実地指導を継続的に行うプリセプターが必要である。プリセプターは自分の役割を認識し、職場全体で支えられながら役割を遂行していく。本研修ではプリセプターになる看護師が研修を受け、自分の役割を知り、どのように行動するかを考えられることを目指す。

I. 研修の概要

1. 対象は訪問看護事業所でプリセプターもしくはそれに準ずるもの、これからプリセプター等を担う者。
2. プリセプターの訪問看護業務に影響が少ないように、1日間もしくは数回に分けて開催する。
3. 本研修はプリセプター研修内容をよく理解しているものが行う。

II. 本研修の目標

1. 訪問看護事業所のプリセプターが役割遂行するための基礎的な能力を身に着ける。
2. 訪問看護事業所のプリセプターが自事業所における役割期待を認知する。
3. 訪問看護事業所のプリセプターが役割行動をするための自事業所における課題と自身の課題を考えることが出来る。

III. 訪問看護のプリセプターに求められる能力

1. 事業所が期待するプリセプター役割を認識できる。
2. 事業所の新人育成計画を理解し、課題を考えられる。
3. プリセプティの特徴を理解し、良好な関係を築くことができる。
4. プリセプティに効果的な関わりをし、評価とフィードバックができる。
5. プリセプティとプリセプター間では困難な状況を、周囲を巻き込み解決策を考えられる。

QI サイクル 1 で検討したいこと

- ・本研修のねらいは現場のニーズに合っているか
- ・本研修の目標は訪問看護プリセプターが役割を遂行することを達成できる目標であるか
- ・訪問看護のプリセプターに求められる能力として、先行研究と予備研究から 5 つ挙げたが、必要な能力を列挙できているか

IV. プログラム試案の理由

1. 受講者観（受講者の現状）

- ・受講者はプリセプターの役割について知らない、もしくは過去に所属していた組織で期待されているプリセプター役割について知っていても、自事業所で求められる役割期待が分からぬもしくはあいまいである。役割期待が分からぬと役割遂行が困難になると考えられる。

2. 教材観（必要な内容）

- ・本研修を受けることで、一般的なプリセプターの役割期待を理解する。
- ・自分の事業所が期待する役割を認知する、もしくは役割期待が明確ではないと知る。
- ・役割獲得ができるように知識・技術・態度の理解を進める。
- ・役割行動を促進するために役割葛藤が生じた際に解決に向かうことが出来るような技術を知る。

3. 指導観（指導の重点）

- ・受講者自らが気づくことを大事にする
- ・受講者が自由な発想をできるように、安心して発言できる環境を作る

V. 研修内容

導入

自己紹介とアイスブレイク 20 分

この研修の概要の説明 10 分

単元1. 基本的な知識

ねらい	プリセプターの役割期待を知り、役割認知するために必要な知識を得る		
目標	1) プリセプターシップとは何か、訪問看護のプリセプターの役割とは何かを述べることが出来る 2) 看護師の学習の特徴と、新しい職場での学習の特徴について述べることが出来る 3) 職場研修の基礎知識を知り、用語の意味を述べることが出来る 4) 自分自身の考えるプリセプター役割期待を表現できる		
学習内容	①プリセプターシップの概要とプリセプターの役割 ・プリセプターシップとは、訪問看護のプリセプターとは ・プリセプターの4つの役割（◆ロールモデル ◆教育者◆評価者 ◆社会化する人） ・日本の動向（新人看護職員研修） ・OJTとOff-JTの違いと特徴 ②ベナーの5段階、成人学習理論 ・ベナーの5段階 特に初心者と新人 ・アンドラゴジー、経験学習、アンラーニング ③ペアで意見交換「私が考える理想のプリセプター」	単元目標との関連 内容①は1) 3) に関連する 内容②は目標2) 3) に関連する 内容③は目標4) に関連する	
時間配分	講義 30分 ペアで意見交換 10分 「私が考える理想のプリセプター」 まとめ 5分		

QI サイクル1で検討したいこと

- ・単元1のねらい、目標が対象者にとって適切であるか。
- ・研修内容は目標を達成するのに適切であるか。
- ・適切な内容を考えたうえで時間配分が妥当であるか。
- ・意見交換の方法とテーマは適切であるか。

ねらい	プリセプターの役割行動ができるスキルを理解し、自分自身のプリセプターとしての課題を考える	
目標	1) プリセプティのニーズの特徴と、目標設定・計画立案・評価の方法をいくつか述べることが出来る 2) コーチングを行い、どのようにプリセプティとフィードバックするのか事例を使い考える事が出来る 3) プリセプターに必要な技術態度について自身の課題を表現できる	
学習内容	①学習ニーズ、目標設定 ・プリセプティの学びのニーズと、プリセプターのニーズ ・プリセプティのアセスメント ・年間・月間・週間計画表 ②評価の方法 ・目標設定と評価 ・複数人での評価の工夫（人、機会） ③フィードバックの方法 ・ポジティブフィードバック ・リフレクションを促すフィードバック ④コミュニケーション ・コーチングの姿勢とテクニック ・アサーティブコミュニケーション ・プリセプティとのコミュニケーション、チームとのコミュニケーションのポイント ・ロールプレイ：コーチングを用いたフィードバックをしてみる 「ケアを拒否された新人訪問看護師」の事例を想定 ⑤プリセプターに必要な技術態度について、自分の課題 （これから取り組む必要があること）を考え、用紙に書きだす。	単元目標との関連 内容①は目標 1) に 関連する 内容②は目標 1) に 関連する 内容③は目標 1) 2) に関連する 内容④は目標 1) 2) 3) に関連する 内容⑤は目標 3) に 関連する
時間配分	講義 30 分 ロールプレイ 60 分 お昼休憩 60 分 全体討議 20 分 講義 15 分 個人ワーク 5 分 まとめ 5 分	

QI サイクル 1 で検討したいこと

- ・単元 2 のねらい、目標が対象者にとって適切であるか。
- ・研修内容は目標を達成するのに適切であるか。
- ・先行文献では、【クリティカルシンキング】を必要な技術として研修プログラムに組み込まれることがあったが、本プログラムに必要か。
- ・コーチングスキルを用いたコミュニケーションを研修にすることが効果的との先行研究からロールプレイの内容を決定したが、訪問看護師のプリセプター研修に適切な内容であるか。
- ・個人ワークの内容は、目標やねらいに対して適切な内容であるか。

単元3 事業所全体で育成をする文化を作るための技術

ねらい	プリセプターシップが事業所全体で支援されるようための課題を考えることが出来る	
目標	1) 事業所の体制や理念を理解するために必要な情報を述べることが出来る 2) 自事業所の体制や理念を理解し、組織の課題を考え、表現できる 3) 自組織の人材育成上の課題と課題に対するアクションプランを考え、表現できる	
学習内容	①組織の分析と周囲を巻き込む方法 ・組織のビジョン・ミッション・バリュー ・人材育成計画と自分の役割、自分を支える体制 ・人材育成上の自組織の課題 ・組織全体での課題解決と、個人の取り組み ・2者間で解決が困難な場合 ・課題解決の方法 ②グループ討議「自事業所の人材育成の課題」を考える ③全体討議「それぞれの課題へのアクションプラン」を討議する ④個人ワーク「課題解決へのアクションプランを書く」	単元目標との関連 内容①は目標 1) に関連する 内容②は目標 2) に関連する 内容③は目標 3) に関連する 内容④は目標 1) 2) 3) に関連する
時間配分	講義 20 分 グループ討議 40 分 全体討議 30 分 個人ワーク 10 分 まとめ 5 分	

QI サイクル1で検討したいこと

- ・単元3のねらい、目標が対象者にとって適切であるか。
- ・研修内容は目標を達成するのに適切であるか。
- ・適切な内容を考えたうえで時間配分が妥当であるか。
- ・内容②と内容③では、課題をグループで検討した上で参加者全員で意見交換をするようにしたが、目標達成に効果的な方法であるか。

VI. タイムスケジュール案（1日の場合）

時間	長さ（分）	内容
9:30-10:00	30	導入
10:00-10:55	55	単元 1
10:55-11:05	10	休憩
11:05-12:35	90	単元 2 内容④まで
12:35-13:35	60	休憩
13:35-14:15	45	単元 2 内容⑤
14:15-14:25	10	休憩
14:25-16:10	105	単元 3
16:10-16:30	20	あいさつ 評価表への記載

VI. 事前課題

集合研修までに自事業所の状況や、自分自身の感じていることを、A4用紙1枚程度にまとめて、研修に臨むようにする。

内容

- ・自事業所の理念、ビジョン・ミッション・ポリシー
- ・自事業所の人材育成の計画・体制
- ・プリセプターになるにあたり不安に感じていることや疑問

もしくは

- ・プリセプターを支援する管理者として不安に感じていることや疑問

QI サイクル1で検討したいこと

- ・タイムスケジュール案は対象者にとって無理のない配分であるか。
- ・事前課題は研修全体の目標を達成するために適当であるか。
- ・事前課題の内容と量は対象者にとって実行可能なものであるか。

**訪問看護プリセプター
研修プログラム (Ver.3)**

単元1：基本的な知識



Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

1

本プログラムの背景と特徴

単元1

- ・プリセプターは準備なしにさせると、疲労感・離職率が上がる
管理者や同僚がサポートすることが必要 (DentGedebegi1995,Martin,2007)
- ・トレーニングをすると離職率が減り満足感が上がる (Pecchen,2018)
- ・プリセプターを経験すると自己成長を感じる (小宮山,2016)
- ・役割を明確にするとストレスは軽減できる (北浦,2006)

ロプリセプタートレーニングにはコーチングの技法が有効 (下平ら,2013)
 □様々な文献と、訪問看護の専門家との意見交換を重ねてプログラムを作成
 □組織を超えて、仲間に出会い、学ぶ
 □自組織と自分を客観的に分析することでアクションプランを作る

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

2

プログラムの目的

単元1 スライド3

看護師のプリセプター→新人看護師が入職してリアリティックを乗り越え、職場に定着するために重要な役割
 現場で実地指導を行う + メンターとして精神的な支援を行う

訪問看護に初めて従事する看護師は多くの困難を感じるので、指導を継続的に行うプリセプタートレーニングが必要です。プリセプターが自分の役割を認識し、職場全体に支えられながら役割を遂行することが望まれます。また同僚や上司もそれぞれの役割を認識し、支援することが望されます。

本研修はプリセプターになる看護師や支援する人が研修を受け、自分の役割を知り、どのように行動するかを考えられることを
 QI cycle 2 の意見3をうけ、文字数を減らす
 ようにして修正した

3

プログラムの目標

単元1 スライド4

1. 訪問看護師のプリセプター（または支援者）がその役割を遂行するための基礎的な能力を身に着ける。
2. 訪問看護師のプリセプター（または支援者）が自事業所で期待されている役割を考えることができる。
3. 訪問看護師のプリセプター（または支援者）が役割を発揮するために自事業所における課題と自身の課題を考えることができる。

QI cycle3で対象者としてプリセプターの支援者を追加

4

プログラムの概要

単元1 スライド5

対象：訪問看護師のプリセプターもしくはプリセプター候補の看護師、プリセプターシップの支援者
 時間：1日間もしくは半日づつに分けて 3つの単元を受講する。
 その後のフォローアップの会を半日設けてもよい。

QI cycle3で対象者としてプリセプターの支援者を追加

5

タイムスケジュール 9:30-17:00

単元1 スライド6

あいさつ本研修の説明 5分			
時間	単元1 基本知識	単元2 新たな技術・態度	単元3 アクションプラン
時間	9:35-11:00	11:10-12:00 13:00-14:40	14:50-16:50
内容	アイスブレイク15分 講義(座学+実践) 50分 ペアで意見交換10分 まとめ 5分 個人ワーク 5分	講義(座学) 50分 ロールプレイ 20分 全体会議 20分 まとめ 5分 個人ワーク 5分	講義 20分 グループ討議 55分 全体会議 20分 個人ワーク 5分 まとめ 10分
備考	終了後 10分休憩	途中お昼休憩 60分	途中10分休憩

QI cycle3で研修会をした後にタイムスケジュールを見直し、修正した

6

アイスブレイク

単元1 スライド7

- 今日出会う人々は皆さんの仲間です。
緊張を溶かして仲良くなりましょう
(1人2分程度)

名前・所属・
「自分が訪問看護師になって間もなく、先輩から

QI cycle 1でアイスブレイクのテーマを修正。狙いを加筆するようにした。QI cycle 2意見4に対応し、「自分が訪問看護に来て」という表現を「自分が訪問看護師になって」という表現に修正した

7

プリセプターシップとは

単元1

一人の新人看護師（プリセプティ）に対して、特定の先輩看護師（プリセプター）が、ある一定期間OJTで業務全般を教え、
リアリティショックの緩和を目指す体制
日本ではメンターを兼ねることが多い。



プリセプティ プリセプター

- 日本では日本看護協会の調査において新卒看護師が入職後1年未満に8.8%が離職する状況が報告（日本看護協会,2005）され、8割以上の病院がこの制度を導入していると言われている（平賀、2004）。

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

8

新人看護職員研修ガイドラインとは

単元1 スライド9

2010年には新人看護職員研修が努力義務化された。
「病院等の開設者は新人看護職員研修の実施や看護職員が研修を受ける機会の確保のため、必要な配慮を行うよう努めなければならない」
同時に厚生労働省からガイドラインが発表された

基本理念
☆看護職は生涯研鑽を積む。特に新人研修は看護実践の基礎になるため重要
☆新人看護師を支えるためには皆で育てるという組織文化の醸成が必要
QI cycle 2の意見3をうけ、文字数を減らすようにして修正した

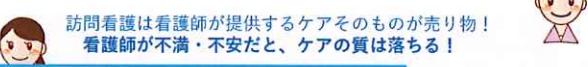
9

どの事業所でも共通する目指す姿

単元1 スライド10

事業所それぞれ、プリセプターの名称、役割は違う
(プリセプター・メンター・教育担当者・教育支援者・サポートー)

共通する目指す姿は
訪問看護をしたい人が職場と仕事に慣れてイキイキと仕事をする
プリセプターもイキイキと仕事をする。どちらも離職しない。



訪問看護は看護師が提供するケアそのものが売り物！
看護師が不満・不安だと、ケアの質は落ちる！

QI cycle 1 意見26-29を参考に作成した

10

訪問看護の人材育成の現状と課題

単元1 スライド11

- 訪問看護を初めて行う看護師は大きな壁（各制度の知識不足、一人で時間内に訪問を終える、病院との違い）を感じる
- 離職率は高い（16.4%、神奈川県、2016）
- 多くの事業所で管理者が直接新入職員の教育を行っている。
- 管理者だけでなく事業所全体で育成に関わることが重要（丸山ら、2017）
- 課題として人材不足の為に教育支援体制が整っていないこと
教育ツール、プログラムが未整備であること、教育にかかる時間

QI cycle 1 意見26-30を参考に作成した

QI cycle 2 の意見5をうけ、修正した

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

11

訪問看護のプリセプターの困難

単元1 スライド12

プリセプターを任せられても（プログラムがないので）
「育成の目標や方法が不明確なので、てきぱきと行う」
「人材育成の目標や方法が事業所で決まっておらず、わからない中で一人で手探り」
「周囲は遠巻きで自分は一人で何とかする」（全体で支援する仕組みがないので）
同僚や上司は関わる機会がなかったり、おまかせ風土になってしまい、一人で部署奮闘するしかないと感じている。
→組織としての準備、プリセプター個人の準備がないと
負担が大きい。特に訪問看護師は自分で何とかしようとする。
(佐藤、2018)

QI cycle 1 意見26-30を参考に作成した

12

単元1

プリセプターになるための知識

- 基本的な考え方や現場で困ることを取り上げます
OJTとOff-JT
経験学習
ペナーの5段階
成人学習の特徴
アンラーニング
同行訪問中心のOJTの課題

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

13

単元1

OJT (On the Job Training)とは

- 実際の仕事現場において、業務を通して行う教育訓練のこと
• 訪問看護ではOJTは不足している（日本看護協会,2011）
- Off-JT 集合研修など現場を離れて行う教育訓練

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

14

単元1

成人学習の特徴を活かしたOJTを行う

成人学習者の特徴

1. 学習者は自己決定的なので受動的な学習は好まない
2. 経験が学習資源になるので経験に結び付けた学習が有効
3. 社会的役割の発達課題があるときに学ぶ意欲が高まる
4. 学習の目的は課題解決であることなので、実践的に学びたい
5. 報酬よりも、自分の興味や関心が学習の動機になるので、モチベーションを上げる支援が有効

赤尾勝巳（2004）生涯学習理論を学ぶ人のために、世界思想社を参考に作成
 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

15

単元1

同行訪問(経験) するだけでなく、経験学習する

経験学習理論

その経験にどういう意味があったのか、どういう教訓が得られるのか、には支援が必要

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

16

単元1

病院で経験した看護師も初心者に戻る

パトリシアペナー：初心者は状況に応じた行動ができないので、実践の原則を学ぶ必要がある。
経験豊かな看護師も、未経験の部門に移動すれば初心者になる。

初心者 新人 中堅 達人

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

17

単元1

学びほぐす必要がある

いたん学んだ知識や既存の価値観を批判的思考によって意識的に棄て去り、新たに学び直すことをアンラーニングという。日本語では「学習棄却」「学びほぐし」など。訪問看護以外での看護の経験、学生としての経験はそのまま活かせることもあるが、アンラーニングが必要なこともある。

「これまでこれでうまくいっていたのに！」という葛藤と戦うことになる。プリセプティもプリセプターもアンラーニングして適応していく

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

18

訪問看護でのOJTの特徴

単元1 スライド19

OJTは同行訪問がメイン。長期的な目標を支える見据えて、短期目標を置く。目標にあった利用者の同行訪問を行う

しかし、難しい

- ・目標のすり合わせのむずかしさ（顔を合わせる時間がない）
- ・目標のたてにくさ（決められたことができるではない）
- ・事例選択の複雑さ（疾患の重症度が看護の難易度ではない）
- ・看護の意味を簡潔に教えることの難しさ（多角的なケア）
- ・的確な振り返りの技術と時間の確保の難しさ

QI cycle 1 の意見48-53を受けて作成した

19

どのような体制でサポートするのか

単元1

工夫例)

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

20

プリセプターや支援者の役割を考えてみよう

単元1

- ・「私は、プリセプティ（プリセプター）に何をしてあげたいか？何をしたらよいと思うか？」ペアで意見交換
聞くときは真剣に。自分の意見や否定は不要です。
- ・1人5分づつ10分
- ・ワークシートワーク2に書き込む

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

21

この研修での話し合い時のルール

単元1

- ・様々な意見を歓迎し、よく聞く
- ・他者の意見を否定しない。興味をもって質問はする
- ・グループワークで見聞きした他の事業所や個人の話を研修後に他言しない

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

22

プリセプターに必要な能力とは

単元1

- ・本プログラムを作成する過程で、得たプリセプターに必要な能力

事業所の人才培养の課題解決に取り組む	プリセプティの心身の状態に关心をよせる
プリセプティが学んだことをよく聞く	同僚や上司とよく相談し、話しあう

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

23

単元1のまとめ

単元1 スライド24

- ✓プリセプターの役割は組織によって少し違うが、
プリセプティが職場に就き、仕事を学ぶ支援者である
- ✓病院で看護師経験があっても即戦力ではない
- ✓成人学習者であることを意識して計画を立て、支援する
- ✓同行訪問という経験から学習できるように支援する
- ✓これまでの経験を活かしつつ、

QI cycle 2 意見6を受けてイラストをガッツポーズからプリセプティとプリセプターに変更

24

単元1：引用・参考文献

・赤尾博巳 (2004) 生活習慣病を学ぶ人のために、世界思想社
・Diket C, Golombok D. (1995) Preceptors' perceptions of benefits, rewards, supports and commitment to the preceptor role. *J Adv Nurs*.21(6), P1144-51.
・半賀 美恵子 (2011) 新人看護職員研修努力義務化後のプリセプター研修の実態日本看護科学学会術会議論集,31回P351.
・神奈川県立看護専門学校看護部専修科は「年次2.8 (2016) 年度 看護専門学校実習日程『訪問看護ステーション』」
[http://www.nagoya-hanayagi.ac.jp/cert/1531819/\(2018.9.10時点\)](http://www.nagoya-hanayagi.ac.jp/cert/1531819/(2018.9.10時点))
・北澤弓子,出谷美香 (2004) プリセプターシップを支える新人看護師への学習サポート・医学出版社
・からだ看護ナースの会田栄美 (2014) 平成26年度一般社団法人企画評議会事業委員会研究事業、新卒看護師のための訪問看
・日本看護協会 (2005) 2004年 新卒看護職の早期起用と実習看護教育調査
・日本看護協会 (2011) 看護看護の今がみに付するデータ(佐藤社系の見直し方に付する検討会)
・局報日2018年7月4日 <http://www.jnnp.org/journals/jnnp/2018/07/28/1383.html>
・P.ペーラー著,草野智子訳 (2011) ベテランナースを見ても、医学書院
・Piccinini CT, et al(2018) The Effects of Preceptor Training on New Graduate Registered Nurse Transition Experiences and Organizational Outcomes, *The Journal of Continuing Education in Nursing*49(5):216-220
・下平,さとら(2013) プリセプターアプローチプログラムの効果に関する研究、高崎技術福祉大学紀要,(12) pp.73-80.

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

25

訪問看護プリセプター研修プログラム (Ver.3)

単元2：プリセプターに必要な技術・態度

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

26

プリセプターに必要な思考：クリティカルシンキング

・クリティカルシンキングとは
批判的思考のこと。常に
「そもそも目的は何だったか?」「本当にそれでよいのか?」
を問い合わせ続ける思考。自分には思考の癖があることが前提である。

「指導せねば!」「訪問看護師はこうあるべき」に
捉われていないか

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

27

人材育成の目標を立てる

訪問看護OJTマニュアルが
目標の参考になります

・組織の目標と合っているか？本人の目標と合っているかのすり合わせ、長
期目標から短期目標を展開する
・評価は目標に沿って行う。SMARTな目標設定をする
・この目標で本当に達成できるかは常にクリティカルシンキングで
考える


評価でき
る目標に
しよう！



なんか違う。。

あれ?
本当にこれが
自分がかな?

Nursing Preceptor Training Program 2019

28

目標設定のSMART

S : Specific **具体的に** 誰が読んでもわかる、明確で具体的な表現や言葉
M : Measurable **測定可能な** 目標の達成度合いを定量化して表す
A : Achievable **達成可能な** 達成可能な現実的内容かどうかを確認
R : Related **関連した** なぜその目標を達成するのかを確認
T : Time-bound **時間制約がある**いつまでに目標を達成するか、期限を設定

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

29

プリセプティの学習ニーズと目標設定

教える計画
事業所の訪問看護師に成長していくために何をプリセプティに教えたいですか？

学ぶ計画
事業所の訪問看護師に成長していくために何を学びたいですか？

具体的なステップ：できれば、入職前に知り合いましょう。（ランチ？オフの日？複数は大歓迎）

1. 教え学習関係性を作る
温かく��拶、お互いを知り、尊重する。互いに期待していることなどアサーティブに話す。
一緒に目標を考える
2. 学習ニーズを知る
プリセプティがすでに何を知っているか、これまでの学習スタイルを知る。学習への希望はあるか？
可能な学習方法は？
3. 期待される成果を考える
組織は、管理者は何を学んでほしいと思っているか、実現可能な目標と一緒に立てる
4. 方法を考える
組織の理念や部署の理念、手帳書や標準的な実践、職位や職種による特殊な実践があるか？
オリエンテーションすること、看護の成果を割るもの、記述テストや、チェックリストがあるか

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

30

気持ちの良いコミュニケーション

単元2

アサーティブとは「自分の気持ちや意見を、相手の気持ちも尊重しながら、誠実に、率直に、そして対等に表現すること」

誠実：自分自身に正直なことで、相手にも誠実になれる
 尊重：巡回ではなストレートに、相手に“伝わる”意思にする
 対等：上から目線でも卑屈でもなく、顔面も心の中もお等に向き合う
 自己責任：言った責任、言わなかった責任は、自分が引き受ける

(アサーティブシャン)

ブリセプターを任されたのに、因ってなんぞ所長に言いにくい・私未熟・
 <相手を尊重しすぎて伝わらない>

何と言おうと、言いたいこと言ってやる！みんな私に押し付けて無責任だ
 (率直だけど相手を尊重しない)

ノンアサーティブ

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

31

フィードバックの目的と方法

単元2

興味を引き出す → 自信をつける → 気づきを促す → 考えを広げる → 行動を振り返る

成長段階に合わせたフィードバック 出典：永井利子(2013)新ブリセプター読本第2版、メディカ出版、P115

タイムリーに、具体的に伝える、ポジティブなフィードバックをする
 できた、すごい。ではダメ。本人の気づきから何に気づいたこと、行動していることにどのような意味があるのか客観的事実を中心にフィードバックする。具体的でポジティブなフィードバックはやる気（動機づけ）を生む。

フィードバックではないもの：指示・命令・賞賛・悪口・強制・脅迫・励まし

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

32

アサーティブにフィードバックしてみましょう

単元2

- 1週間前に入職したブリセプティのAさんは、話を一生懸命聞く態度はあるのですが、メモを取ることはなく、繰り返し伝えたことも「忘れてしまう」といいます。
 貴方は事業所内のルールを明文化していない自分たちもよくなかったと思いつつ、Aさんにメモを取などの工夫をした方がよいと思っています。
- Aさんは看護師経験は長いのですが、訪問看護は初めてです。
 最近「私本当に使い看護師ですね」と落ち込み気味です。
 アサーティブに話してみましょう。
- 事業所で電話に出た際には「〇〇」と名のってほしいのですが、Aさんは電話に慣れており「はいAです」と出でてしまっています。「それじゃ相手の人がひっくりじらうでしょう」と注意した人もいましたが、..

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

33

フィードバックのテクニック コーチングの姿勢

単元2

- コーチは聞き、観察し、質問し(詰問ではなく)、評価(承認)、時には提案することによって、クライアントの行動をより起こしやすくしていきます。（日本コーチ協会）
- コーチとクライエント(相手)の立場は対等

コーチングの技法を学ぶとブリセプティは負担感が減る

傾聴・質問・承認！

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

34

実際のフィードバックに活かす

単元2

- 自分の意見よりも、本人がどのようなことに注意を払っているか、見たことをどのように理解しているか(気づいているか)聞く
- 本人が、見てないのか、表現できないだけなのか見極める
- 本人が知っていること・見たこと・考えたことを意味付けていく

↓

自分が見たことを表現できると、臨床判断を明確化できることにつながる

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

35

コーチングを用いたフィードバック

単元2 スライド11

事例1「ケアを拒否された新人訪問看護師」
 状況：入職2か月目のブリセプティがブリセプターであるあなたと今日の訪問について振り返りをしていました。
 「Aさんのところに数回同行訪問してます、いつも清拭をするので私もさせてもらおうと思ったら、Aさんに拒否されました。私が新人だから嫌だったのでしょうか？」
 と聞かれました。貴方はAさんが清拭をやめたいときに示しているのを無視して、ブリセプティが清拭を勧めているのを見直しています。どう振り返りますか？

今日は寒気がするから…

今日も清拭しましょう！

えっ…嫌だよ

QI cycle 1 の意見44と46をうけ、作成した

36

看護とコーチング やってみよう

単元2

- ・自分の意見よりも、本人がどのようなことに注意を払っているか、見たことをどのように理解しているか(気づいているか)聞く
- ・本人が、見てないのか、表現できないだけなのか見極める
- ・本人が知っていること・見たこと・考えたことを意味付けていく

P.ベナー早野ZITO真佐子訳2011「ペナーナースを育てる」医学書院P271

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

37

ロールプレイのルール

単元2

- ・役を演じることに集中する(事例をみたり、笑ったり、しない)
- ・時間は守る(作戦タイム10分、役準備1分、ロール7分、振り返り15分)
- ・観察者はロールの邪魔をしない(視界に入らないように)
- ・振り返りはダメだしではなく、どうしたらよいかを皆で考える
- ・振り返りは感じたこと、観察したこと、事実を伝える

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

38

事例2 新人が先輩看護師に怒られている場面に居合わせたプリセプター

単元2 スライド14

新人と一緒に同行した看護師が事業所に戻ってきました。先輩看護師はとても怒っています。
「Aさんは転びやすいって何回も言ったじゃない！足元に滑りやすいものをポイって置くなんて信じられない！あなた転ばせたいの？人間性を疑うわ！」
と怒っています。貴方は事情はよく分かりませんが、プリセプターとしてかかわろうと思っています。

- ・先輩看護師へのかかわり
 - ・プリセプティへのかかわり
- アサーティブに、コーチングを参考にして具体的に考えてみましょう



QI cycle 1 の意見44と46をうけ、作成した

39

自分の課題（これから取り組むべきこと）

単元2

今のわたし

なりたいプリセプター



では、どうしたらよいか?
これから取り組むべきこと

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

40

訪問看護プリセプター 研修プログラム (Ver.3)

単元3：事業所全体で育成をするための アクションプラン



Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

41

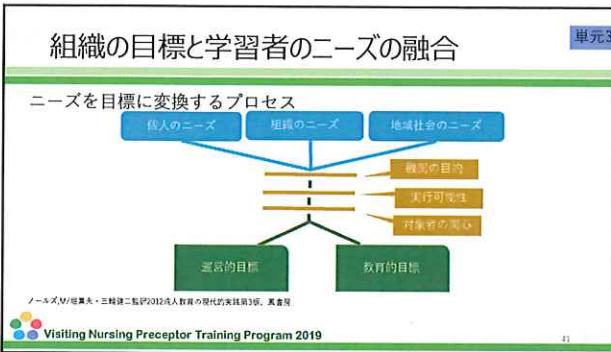
この単元のねらい

単元3

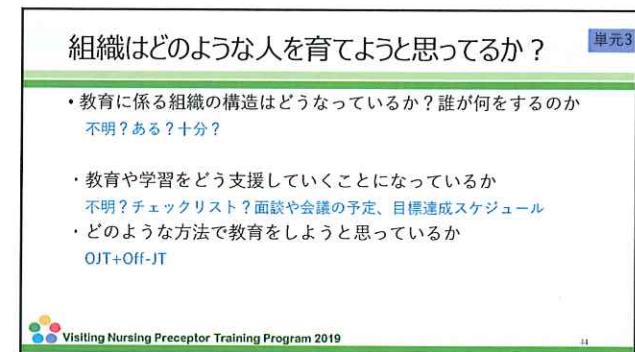
単元1・2ではプリセプター（支援者）に必要な知識、技術、態度を学びました。
しかし、プリセプターが頑張っても負担が大きくなります。
自事業所の状況を客観的に分析して、これから自分が取り組むこと、組織で取り組むことのアクションプランを作ります。

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

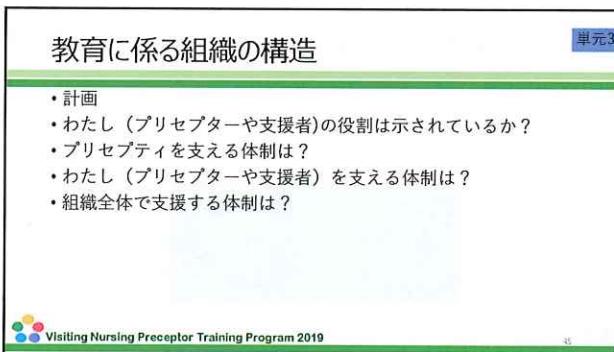
42



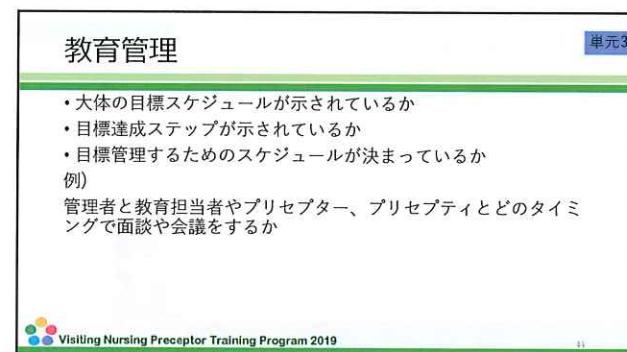
43



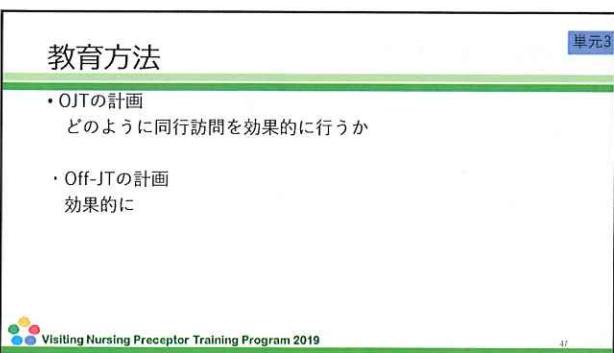
44



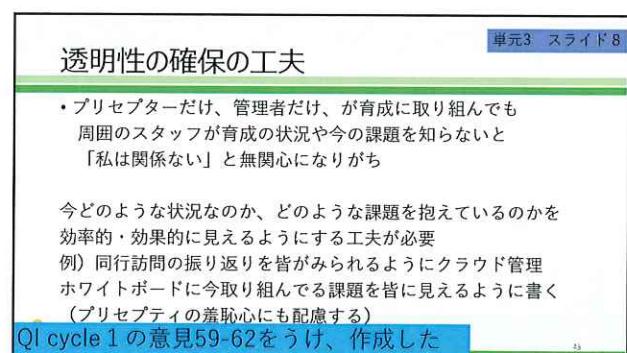
45



46



47



48

自組織の状況はどうか

ワークシートに図示してみましょう
☆人に見せなくても良いので素直に書いてみましょう
グループでシェアしましょう
☆見せたくないものは見せずに、口答でシェアしても良いです

全体でシェアしましょう

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

49

訪問看護のプリセプターに役立つツール

新卒訪問看護師育成
☆きらきら訪問ナース研究会（2016）地域で育てる新卒訪問看護師のための包括的人材育成ガイド
☆全国訪問看護事業協会（2018）訪問看護から始めるキャリア発達支援ガイド
（一般社団法人全国訪問看護事業協会HPからDL可能）
☆ケアプロ株式会社編（2017）ケアプロ式新卒・新人訪問看護師教育プログラム、学研メディカル秀潤社。
訪問看護師育成
☆東京都保健福祉局訪問看護OJTマニュアル（2013）
東京都保健福祉局のHPからDL可能
☆日本訪問看護財団（2015）OJTガイドブック（第3版）
日本訪問看護財団のHPから注文可能

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

50

アクションプランを一つ発表してみましょう

・グループのメンバーに、一つだけアクションプランを発表しましょう
「〇〇のために△△します！」

・グループメンバーは拍手と応援の声掛けをしてあげてください
「いいね！」「きっとできるよ！」「がんばれ！」

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

51

まとめ

皆さんのアクションプランは訪問看護師としての成長目標にもなります。

一人ではできません。
ステーションの人々を巻き込みましょう。

うまくいかない時はご相談ください
講師名・連絡先
Q1 cycle 1 の意見54をうけ、追記した

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

52

単元2-3引用・参考文献

・アサーティブジャパン、アサーティブとは.[https://www ASSERTIVE.org/\(2019.4.20閲覧\)](https://www ASSERTIVE.org/(2019.4.20閲覧))
・永井則子（2013）新プリセプター読本改訂2版、メディカ出版.P115
・日本コーチ協会、コーチングについて.<http://www.coach.or.jp/>（2019.5.1閲覧）
・P.ペナー著早野ZITO真佐子訳（2011）ベナーナースを育てる。
医学書院,P271

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

53

訪問看護プリセプター研修プログラム (Ver.1)

単元1：基本的な知識

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

1

本プログラムの背景と特徴

- ・プリセプターは準備なしにさせると、疲労感・離職率が上がる
管理者や同僚がサポートすることが必要 (DeelGodenberg 1995;Aulilia,2007)
- ・トレーニングをすると離職率が減り満足感が上がる (Piccinni,2013)
- ・プリセプターを経験すると自己成長を感じる (小宮山,2016)
- ・役割を明確にするとストレスは軽減できる (北浦,2006)

ローテーショントレーニングにはコーチングの技法が有効 (下平ら,2013)
 □様々な文献と、訪問看護の専門家との意見交換を重ねてプログラムを作成
 □組織を超えて、仲間に出会い、学ぶ
 □自組織と自分を客観的に分析することでアクションプランを作る

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

2

プログラムの目的

看護師のプリセプター→新人看護師が入職してリアリティショックを乗り越え、職場に定着するために重要な役割

現場で実地指導を行う  メンターとして精神的な支援を行う

訪問看護に初めて従事する看護師は多くの困難を感じるので、指導を継続的に行うプリセプターが必要です。プリセプターが自分の役割を認識し、職場全体に支えられながら役割を遂行することが望まれます。

本研修はプリセプターになる看護師が研修を受け、自分の役割を知り、どのように行動するかを考えられることを目指します。

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

3

プログラムの目標

1. 訪問看護事業所のプリセプターがその役割を遂行するための基礎的な能力を身に着ける。
2. 訪問看護事業所のプリセプターが自事業所で期待されている役割を考えることができる。
3. 訪問看護事業所のプリセプターが役割を発揮するために自事業所における課題と自身の課題を考えることができる。

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

4

プログラムの概要

対象：訪問看護事業所のプリセプターもしくはプリセプター候補の看護師

時間：1日間 3つの単元を受講する

プログラムの評価：
9~10月にひと事業所づつインタビューをさせていただきます

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

5

タイムスケジュール 9:30-16:30

あいさつ本研修の説明 10分			
時間	単元1	単元2	
9:30-10:55	11:05-12:45	14:15-16:15	
内 容	アイスブレイク15分 講義(座学・ca=45分) ペアで意見交換10分 まとめ ワークシート 3分	講義(座学) 40分 ロールプレイ 60分 全体討議 20分 まとめ 5分 個人ワーク 3分	講義 20分 グループ討議 55分 全体討議 20分 個人ワーク 5分 まとめ 10分
備考	終了後 10分休憩	途中お昼休憩 60分	途中10分休憩

あいさつ・評価表への記載 10分

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

6

アイスブレイク

・今日出会う人々は皆さんの仲間です。
氷を溶かして仲良くなりましょう

名前・所属・
「自分が訪問看護に来て先輩から教わったこと、
助けてもらったことの中から印象的なことを一つ」

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

7

プリセプターシップとは

一人の新人看護師（プリセプティ）に対して、特定の先輩看護師（プリセプター）が、ある一定期間OJTで業務全般を教え、
リアリティショックの緩和を目指す体制
日本ではメンターを兼ねることが多い。



プリセプティ プリセプター

・日本では日本看護協会の調査において新卒看護師が入職後1年未満に8.8%が離職する状況が報告（日本看護協会,2005）され、8割以上の病院がこの制度を導入していると言われている（平賀、2004）。

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

8

どの事業所でも共通する目指す姿

事業所それぞれ、プリセプターの名称、役割は違う
(プリセプター・メンター・教育担当者・教育支援者・サポーター)

共通する目指す姿は
訪問看護をしたい人が職場と仕事に慣れてイキイキと仕事をする
プリセプターもイキイキと仕事をする。どちらも離職しない。



訪問看護は看護師が提供するケアそのものが売り物！
看護師が不満・不安だと、ケアの質は落ちる！

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

9

新人看護職員研修ガイドラインとは

2010年には新人看護職員研修が努力義務化された。
「病院等の開設者は新人看護職員研修の実施や看護職員が研修を受ける機会の確保のため、必要な配属を行うよう努めなければならない」

同時に厚生労働省からガイドラインが発表された

基本理念
☆看護職は生涯研鑽を積む。特に新人研修は看護実践の基礎になるため重要
☆新人看護師を支えるためには皆で育てるという組織文化の醸成が必要

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

10

訪問看護の人材育成の現状と課題

- ・訪問看護を初めて行う看護師は大きな壁を感じる
- ・離職率は高い
- ・多くの事業所で管理者が直接新入職員の教育を行っている。
- ・管理者だけでなく事業所全体で育成に関わることが重要
(丸山ら,2017)
- ・課題として人材不足の為に教育支援体制が整っていないこと、
教育ツール、プログラムが未整備であること、教育にかかる時間とスタッフ、予算が確保できない
(神奈川県, 2017)
- ・教育プログラムについては64%の事業所が持っていない
(全国訪問看護事業協会,2015)

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

11

訪問看護のプリセプターの困難

プリセプターを任されても（プログラムがないので）
「育成の目標や方法が不明確なので、てさぐりで行う」

人材育成の目標や方法が事業所で決まっておらず、わからない中で一人で手探り
「周囲は遠巻き自分は一人で何とかする」（全体で支援する仕組みがないので）

同僚や上司は関わる機会がなかったり、おまかせ風土になってしまい、一人で畠草鳶討するしかないを感じている。

→組織としての準備、プリセプター個人の準備がないと
負担が大きい。特に訪問看護師は自分で何とかしようとする。
(佐藤 : 2018)

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

12

プリセプターになるための知識

- 基本的な考え方や現場で困ることを取り上げます
OJTとOff-JT
経験学習
ベナーの5段階
成人学習の特徴
アンラーニング
同行訪問中心のOJTの課題

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

13

OJT (On the Job Training)とは

- 実際の仕事現場において、業務を通して行う教育訓練のこと
• 訪問看護ではOJTは不足している（日本看護協会、2011）
- Off-JT 集合研修など現場を離れて行う教育訓練

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

14

成人学習の特徴を活かしたOJTを行う

成人学習者の特徴

1. 学習者は自己決定的なので受動的な学習は好まない
2. 経験が学習資源になるので経験に結び付けた学習が有効
3. 社会的役割の発達課題があるときに学ぶ意欲が高まる
4. 学習の目的は課題解決できることなので、実践的に学びたい
5. 報酬よりも、自分の興味や関心が学習の動機になるので、モチベーションを上げる支援が有効

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

15

同行訪問(経験) するだけでなく、経験学習する



経験学習理論

Kolbモデルを松尾（2011）が改変したもの
経験学習入門（2011）松尾暁、ダイヤモンド社
15

16

病院で経験した看護師も初心者に戻る

パトリシアベナー：初心者は状況に応じた行動ができないので、実践の原則を学ぶ必要がある。
経験豊かな看護師も、未経験の部門に移動すれば初心者になる。



ステップアップのポイントは特別ではなく、経験の質

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

17

学びほぐす必要がある

アンラーニング

いったん学んだ知識や既存の価値観を批判的思考によって意識的に棄て去り、新たに学び直すこと。日本語では「学習棄却」「学びほぐし」など。

訪問看護以外での看護の経験、学生としての経験はそのまま活かせることもあるが、アンラーニングが必要なこともある。

「これまででこれでうまくいっていたのに！」という葛藤と戦うことになる。アンラーニングして適応していく

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

18

訪問看護でのOJTの特徴

OJTは同行訪問がメイン。長期的な目標を支える見据えて、短期目標を置く。目標にあった利用者の同行訪問を行う。

しかし、難しい

- ・目標のすり合わせのむずかしさ（顔を合わせる時間がない）
- ・目標のたてにくさ（決められたことができるではない）
- ・事例選択の複雑さ（疾患の重症度が看護の難易度ではない）
- ・看護の意味を簡潔に教えることの難しさ（多角的なケア）
- ・的確な振り返りの技術と時間の確保の難しさ

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

19

どのような体制でサポートするのか

工夫例)

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

20

プリセプターの役割を考えてみよう

- ・「私は、プリセプティに何をしてあげたいか？
何をしたらよいと思うか？」ペアで意見交換
聞くときは真剣に。自分の意見や否定は不要です。
- ・10分
- ・ワークシートに書き込む

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

21

プリセプターに必要な能力とは

- ・本プログラムを作成する過程で、得たプリセプターに必要な能力

プリセプティを理解しようとする

プリセプティに関心を払う

プリセプティの話をよく聞く

同僚や上司と話しができる

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

22

単元1のまとめ

- ✓ プリセプターの役割は組織によって少し違うが、
プリセプティが職場になじみ、仕事を学ぶ支援者である
- ✓ 病院で看護師経験があっても即戦力ではない
- ✓ 成人學習者であることを意識して計画を立て、支援する
- ✓ 同行訪問という経験から学習できるように支援する
- ✓これまでの経験を活かしつつ、
アンラーニングすることも支援する

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

23

訪問看護のプリセプターに役立つツール

新卒訪問看護師育成
☆きらきら訪問ナース研究会（2016）地域で育てる新卒訪問看護師のための包括的人材育成ガイド
☆全国訪問看護事業協会（2018）訪問看護から始めるキャリア発達支援ガイド（一般社団法人全国訪問看護事業協会HPからDL可能）
☆ケアプロ株式会社（2017）ケアプロ式新卒・新人訪問看護師教育プログラム、学研メディカル秀潤社。
訪問看護師育成
☆東京都保健福祉局訪問看護OJTマニュアル（2013）
東京都保健福祉局のHPからDL可能
☆日本訪問看護財団（2015）OJTガイドブック（第3版）
日本訪問看護財団のHPから注文可能

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

24

引用・参考文献

- 日本看護協会（2011）訪問看護の伸び悩みに関するデータ(医療計画の見直し等に関する検討会)閲覧日2019年7月4日
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/29852000001/jr7-att/29852000001jv6.pdf>
- P.ペーラー著、早野ZITO真佐子訳（2011）ベナー ナースを育てる、医学書院。
- 松尾桂
- 赤尾昌巳（2004）生涯学習理論を学ぶ人のために、世界思想社。
- 北浦亮子、渋谷美香（2006）ブリセプターシップを変える新人看護師への学習サポート、医学書院。

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

25

訪問看護プリセプター研修プログラム (Ver.1)

単元2：プリセプターに必要な技術・態度

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

26

プリセプターに必要な思考：クリティカルシンキング

- クリティカルシンキングとは
批判的思考のこと。常に
「そもそも目的は何だったか？」 「本当にそれでよいのか？」
を問い合わせる思考。自分には思考の癖があることが前提である。
「指導せねば！」 「訪問看護師はこうあるべき」に捉われていないか
- 例）「新人は、冷たい人で全然利用者の気持ちがわからず」
それは本当なのか？冷たいと理解できないのか？
そもそも自分の役割は人格評価か？
自分は、他人の特徴を決めつけてしまう癖があるのではないか？

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

27

計画と評価の方法

訪問看護OJTマニュアルが
自らの参考になります

- 組織の目標と個人の目標のすり合わせ、長期目標から短期目標を展開する
- 評価は目標に沿って行う。SMARTな目標設定をする
- この目標で本当に達成してほしいことをクリアできるかは
常にクリティカルシンキングで考える

Nursing Preceptor Training Program 2019

28

プリセプティの学習ニーズと目標設定

教えて計画
訪問看護師に成長していくために何を
どのように教えてくださいか？
どう学びますか？

学ぶ計画
事務局の訪問看護師に成長していくために何を学びたいですか？
どう学びますか？

具体的なステップ：できれば、入職前に知り合いましょう。（ランチ？オフの日？複数は大事）

- 教える関係性を作る
温かく迎え、お互いを知り、尊重する。互いに期待していることなどアサーティブに話す。
一緒に目標を考える
- 学習ニーズを知る
プリセプティがすでに何を知っているか、これまでの学習スタイルを知る。学習への障壁はあるか？
可能な学習方法は？
- 期待される成果を考える
組織は何を学んでほしいと思っているか、実現可能な目標を一緒に立てる
- 方法を考える
組織の理念や部署の理念、手順書や標準的な実践、職位や職種による特殊な実践があるか？
オリエンテーションすること、看護の成果を測るもの、記述テストや、チェックリストがあるか

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

29

気持ちの良いコミュニケーション

アサーティブとは「自分の気持ちや意見を、相手の気持ちも尊重しながら、誠実に、率直に、そして対等に表現すること」

眞実：自分自身に正確になることで、相手にも誤解になれる
率直：過剰ではなくスムーズに、相手に伝わる言葉にする
対等：上から目線でも卑屈でもなく、態度もの中でも対等に向き合う
自己責任：言った責任、言わなかた責任は、自分が引き受ける
(アサーティブシャイン)

ノンアサーティブ
アグレッシブ・攻撃型

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

30

フィードバックの目的と方法

成長段階に合わせたフィードバック 出典：赤井則子(2013)新ブリセプター教本第2版、メディカ出版、P115

タイムリーに、具体的に伝える、ポジティブなフィードバックをする
できた、すごい。ではダメ。本人の気づきから何に気づいたこと、行動していること
にどのような意味があるのか客観的事実を中心にフィードバックする。具体的で
ポジティブなフィードバックはやる気（動機づけ）を生む。

フィードバックではないもの：指示・命令・賞賛・悪口・強制・脅迫・励まし

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

31

アサーティブにフィードバックしてみましょう

1週間前に入職したブリセプティのAさんは、話を一生懸命聞く態度はあるのですが、メモを取ることではなく、繰り返し伝えたことも、「忘れてしまう」といいます。
貴方は事業所内のルールを明文化していない自分たちもよくなかったと思いつつ、Aさんにメモを取などの工夫をした方がよいと思っています。

Aさんは看護師経験は長いのですが、訪問看護は初めてです。
最近「私本当に使えない看護師ですね」と落ち込み気味です。
アサーティブに話してみましょう。

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

32

フィードバックのテクニック コーチングの姿勢

- コーチは聞き、観察し、質問し（詰問ではなく）、評価（承認）、時には提案することによって、クライアントの行動をより起こしやすくしていきます。（日本コーチ協会）
- コーチとクライエント（相手）の立場は対等

コーチングの技法を学ぶとブリセプティは負担感が減る

傾聴・質問・承認！

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

33

実際のフィードバックに活かす

- 自分の意見よりも、本人がどのように注意を払っているか、見えたことをどのように理解しているか（気づいているか）聞く
- 本人が、見てないのか、表現できないだけなのか見極める
- 本人が知っていること・見たこと・考えたことを意味付けていく

↓
自分が見たことを表現できると、臨床判断を明確化できることにつながる

この状況で利用者の呼吸状態を確認する必要があることに気付いているか、そのことを表現できないだけか聞いてみよう。

P.ベナー早野ZITO真佐子訳2011「ベナーナースを育てる」医学書院P271
Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

34

コーチングを用いたフィードバック

事例1「ケアを拒否された新人訪問看護師」

状況：入職2か月目のブリセプティがブリセプターであるあなたと今日の訪問について振り返りをしています。

「Aさんのところに数回同行訪問してます。いつも清拭をするので私もさせてもらおうと思ったら、Aさんに拒否されました。私が新人だから嫌だったのでしょうか？」

と聞かれました。貴方はAさんが清拭をやめたいと前に示しているのを無視して、ブリセプティが清拭を勧めているのを自覚しています。どう張り返りますか？

今日は寒気がするから・・・
今日も清拭しましょう！
えっ・・・嫌だよ

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

35

看護とコーチング やってみよう

- 自分の意見よりも、本人がどのように注意を払っているか、見えたことをどのように理解しているか（気づいているか）聞く
- 本人が、見てないのか、表現できないだけなのか見極める
- 本人が知っていること・見たこと・考えたことを意味付けていく

P.ベナー早野ZITO真佐子訳2011「ベナーナースを育てる」医学書院P271
Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

36

事例2 新人が先輩看護師に怒られている場面に居合わせたプリセプター

新人と同行した看護師が事業所に戻ってきました。先輩看護師はとても怒っています。

「Aさんは転びやすいって何回も言ったじゃない！足元に滑りやすいものをポイて置くなんて信じられない！あなた転ばせたいの？人間性を疑うわ！」

と怒っています。貴方は事情はよく分かりませんが、プリセプターとしてかかわろうと思っています。

- ・先輩看護師へのかかわり
- ・プリセプティへのかかわり

アサーティブに、コーチングを参考にして具体的に考えてみましょう



Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

37

自分の課題（これから取り組むべきこと）

今のわたし

なりたいプリセプター

では、どうしたらよいか？
これから取り組むべきこと

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

38

**訪問看護プリセプター
研修プログラム (Ver.1)**

**単元3：事業所全体で育成をするための
アクションプラン**



Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

39

この単元のねらい

単元1・2ではプリセプターに必要な知識、技術、態度を学びました。

しかし、プリセプターが頑張っても負担が大きくなります。自事業所の状況を客観的に分析して、これから自分が取り組むこと、組織で取り組むことのアクションプランを作ります。

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

40

組織の目標と学習者のニーズの融合

ニーズを目標に変換するプロセス

```

    graph TD
      A[個人のニーズ] --> B[組織のニーズ]
      A --> C[地域社会のニーズ]
      B --> D[組織の目的]
      B --> E[実行可能性]
      C --> F[対象者の关心]
      D --> G[運営的目標]
      E --> H[教育的目標]
      F --> H
  
```

ノートズ、改訂版・三種類二監修2012版入教育の実践第3章、基層開

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

41

組織はどのような人を育てようと思ってるか？

- ・教育に係る組織の構造はどうなっているか？誰が何をするのか
不明？ある？十分？
- ・教育や学習をどう支援していくことになっているか
不明？チェックリスト？面談や会議の予定、目標達成スケジュール
- ・どのような方法で教育をしようと思っているか
OJT+Off-JT

Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

42

教育に係る組織の構造

- ・計画
- ・わたし（プリセプター）の役割は示されているか？
- ・プリセプティを支える体制は？
- ・わたし（プリセプター）を支える体制は？
- ・組織全体で支援する体制は？

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

43

教育管理

- ・大体の目標スケジュールが示されているか
- ・目標達成ステップが示されているか
- ・目標管理するためのスケジュールが決まっているか
例)
- 管理者と教育担当者やプリセプター、プリセプティととのタイミングで面談や会議をするか

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

44

教育方法

- ・OJTの計画
どのように同行訪問を効果的に行うか
- ・Off-JTの計画
効果的に

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

45

透明性の確保の工夫

- ・プリセプターだけ、管理者だけ、が育成に取り組んでも周囲のスタッフが育成の状況や今の課題を知らないと「私は関係ない」と無関心になりがち
- 今どのような状況なのか、どのような課題を抱えているのかを効率的・効果的に見えるようにする工夫が必要
例）同行訪問の振り返りを皆がみられるようにクラウド管理ホワイトボードに今取り組んでる課題を皆に見えるように書く（プリセプティの羞恥心にも配慮する）

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

46

自組織の状況はどうか

ワークシートに図示してみましょう

グループでシェアしましょう

全体でシェアしましょう

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

47

訪問看護のプリセプターに役立ツール

新卒訪問看護師育成
☆きらきら訪問ナース研究会（2016）地域で育てる新卒訪問看護師のための包括的人材育成ガイド
☆全国訪問看護事業協会（2018）訪問看護から始めるキャリア発達支援ガイド
（一般社団法人全国訪問看護事業協会HPからDL可能）
☆ケアプロ株式会社（2017）ケアプロ式新卒・新人訪問看護師教育プログラム、学研メディカル秀澤社、訪問看護師育成
☆東京都保健福祉局訪問看護OJTマニュアル（2013）
東京都保健福祉局のHPからDL可能
☆日本訪問看護財団（2015）OJTガイドブック（第3版）
日本訪問看護財団のHPから注文可能

 Visiting Nursing Preceptor Training Program 2019

48

まとめ

ワークシートに書いたことは皆さんのアクションプランです。
そして、訪問看護師としての成長目標にもなります。

一人ではできません。
ステーションの人々を巻き込みましょう。

うまくいかない！時はメールをください
佐藤直子 : sato-n@slcn.ac.jp



49

単元2-3引用・参考文献

- ・アサーティブジャパン、アサーティブとは.<https://www.assertive.org/>(2019.4.20閲覧)
- ・永井則子（2013）新ブリセプター読本改訂2版、メディカ出版.P115
- ・日本コーチ協会、コーチングについて.<http://www.coach.or.jp/> (2019.5.1閲覧)
- ・P.ペナー著早野ZITO真佐子訳（2011）ベナーナースを育てる。
医学書院,P271



50

